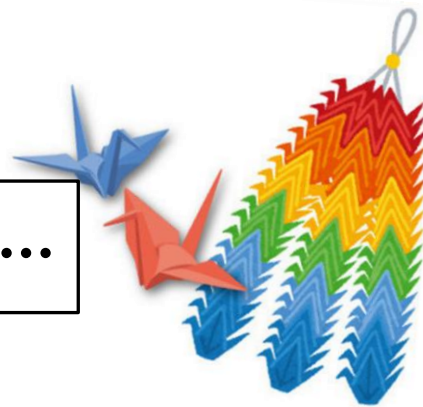


戦争の記憶を 風化させないために…



戦後75年『戦争の記憶』展

1945(昭和20)年8月15日の終戦から、今年で75年。今では、戦後生まれの世代が日本の総人口の85%を占め、年を重ねる毎に『語り部』の減少や、『戦争の記憶』の風化が危惧されています。

世界では今、新型コロナ禍に加え、様々な人権に係る問題(人種、性の多様性、ネットでの誹謗中傷等)や、不安定化している国際秩序(紛争、対立等)の中にあって、『戦争の記憶』を振り返り、人権尊重の土台である平和の尊さについて考え、他人事ではなく自分の問題として語り合うことが、求められているのではないのでしょうか。

今回の企画展は、「大刀洗平和記念館(筑前町)」「知覧特攻平和会館(鹿児島県南九州市)」のご協力を得て開催致します。なお、「万世特攻平和祈念館(鹿児島県南さつま市)」を含め、三館の二市一町は、2019(H31)年4月に連携協定を結び、交流がスタートしました。

未来を築く子どもたちに、『平和な社会』を引き継いでいくためにも、多くの人々にご覧いただき、語り合いの輪を広げられれば幸いです。

2020(令和2)年11月

朝倉地区人権啓発情報センター

◆ この企画展は、東峰村・筑前町・朝倉市を巡回して、開催を予定しております。下記期間中は、各施設とも無料で自由にご覧いただけます。(8:30~22:00)

○東峰村 11月28日~12月11日 保健福祉センターいずみ館

○筑前町 12月15日~12月27日 コスモスプラザ

○朝倉市 1月8日~1月21日 朝倉地域生涯学習センター

■朝倉地区人権・同和教育研究会 1/23(土) サンライズ杷木(12:30~16:00)